

データヘルス計画を策定しました

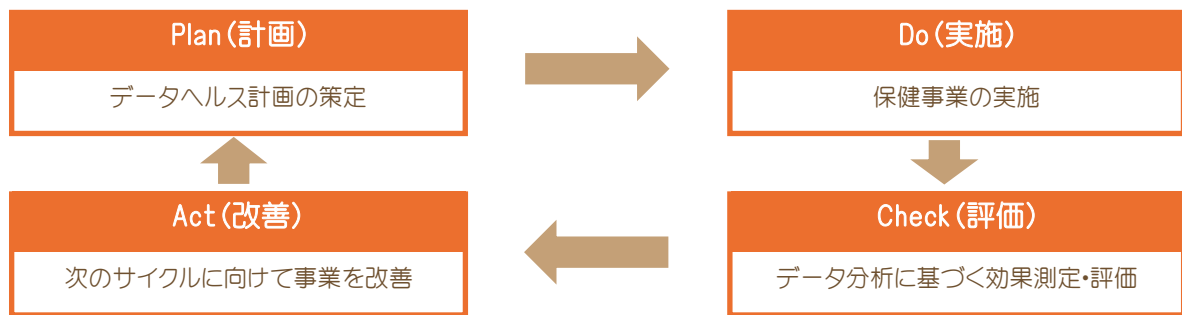
データヘルス計画策定の趣旨

平成 25 年 6 月政府が閣議決定した「日本再興戦略」の中で、日本が直面している高齢化とそれに伴う医療・介護サービスに対する需要の増大が取り上げられ、需要の抑制のために「国民の健康寿命(※)の延伸」が重要施策として掲げられました。国民の健康寿命の延伸のために、すべての医療保険者に対しセプト・健診情報等のデータ分析に基づく加入者の健康保持増進のための計画(データヘルス計画)の作成等の健康管理・疾病予防の取組が求められています。

当組合でも平成 27 年度から平成 29 年度までの間における「大阪府市町村職員共済組合データヘルス計画:第 1 期」を定め、計画に基づき健康・医療情報を活用して、PDCA サイクルに沿った効果的・効率的な保健事業を推進してまいります。組合員及び被扶養者の皆様方につきましてはどうかご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(※) 健康上の問題で日常生活が制限されることなく、健康で自立した生活を送れる期間

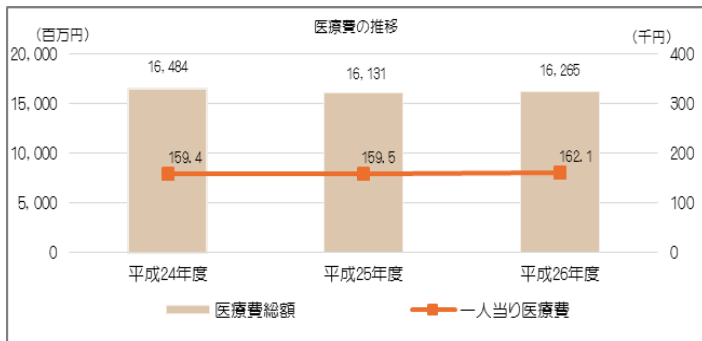
[PDCA サイクル図]



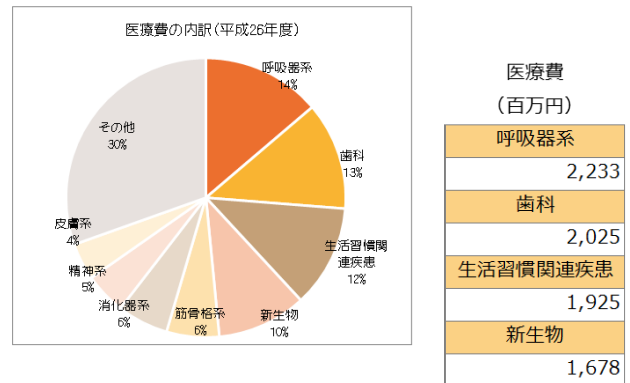
主な分析：当組合の医療費概要

・当組合における医療費総額、一人当たり医療費ともに過去 3 年間は横ばいで推移しています。

医療費の経年推移(平成 24-26 年度)



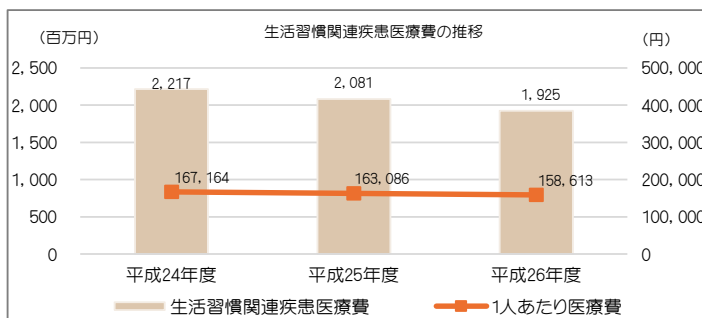
2) 疾患分類別医療費の状況(平成 26 年度)



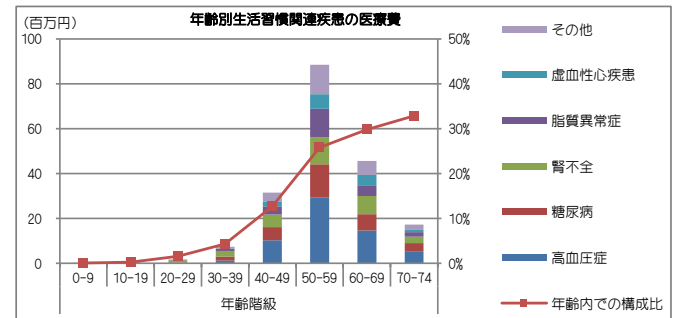
主な分析：生活習慣関連疾患医療費

・生活習慣関連疾患の医療費は減少傾向にあるものの、年齢別で見ると 40 歳代から急増しています。疾患別にみると高血圧症、糖尿病、腎不全の順に医療費が高い状況です。

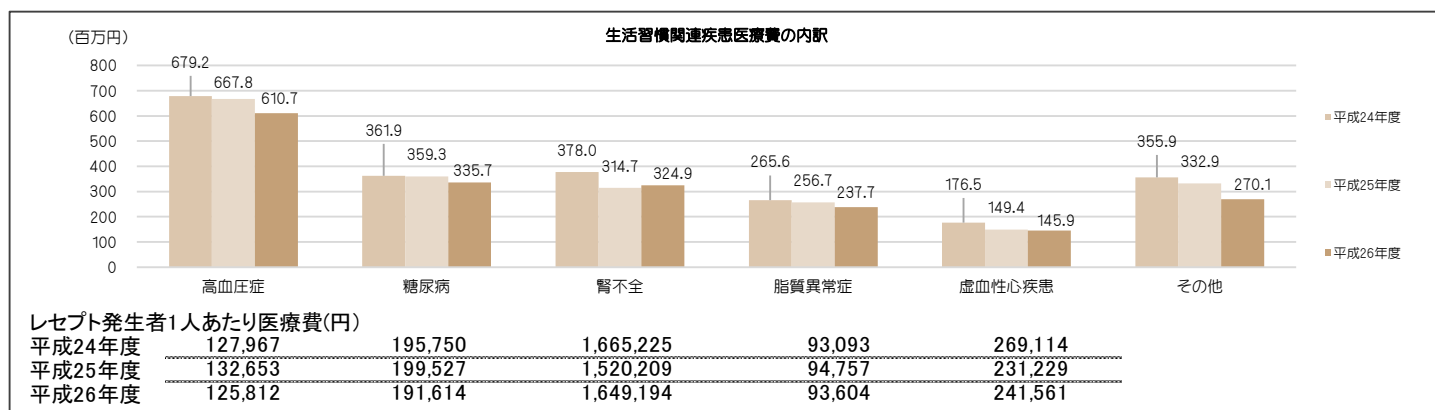
1) 生活習慣関連疾患の医療費推移(平成 24-26 年度)



2) 年代別生活習慣関連疾患の医療費内訳(平成 26 年度)



3) 生活習慣関連疾患の医療費内訳 (平成 24-26 年度)



主な分析：喫煙・肥満の状況

・喫煙率は平成 24 年度から平成 26 年度にかけて減少傾向にあります。肥満率は平成 26 年度において 26.0%でした。

1) 喫煙者数の推移 (平成 24-26 年度)

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
喫煙	喫煙していない方(名)	23,663	23,815	23,065
	喫煙している方(名)	6,316	6,050	5,868
	喫煙率	21.1%	20.3%	20.3%

2) 肥満者 (BMI25 以上) 数の推移 (平成 24-26 年度)

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
肥満	BMI25未満の方(名)	22,227	22,141	21,405
	BMI25以上の方(名)	7,745	7,724	7,531
	肥満率	25.8%	25.9%	26.0%

※40 歳以上の健診受診者におけるデータを使用しています

※「全国たばこ喫煙者率調査」平成 26 年 5 月実施 (日本たばこ産業株式会社) による全国喫煙率: 19.7%

データヘルス計画に基づくこれからの取組み

予防管理が可能な生活習慣関連疾患について、生活習慣に関する啓発事業を検討していきます。また、健診結果より高血圧症・糖尿病・脂質異常症といった生活習慣病のリスクを保有していると判定された方については、医療機関の受診状況を診療報酬明細書 (レセプト) の発生有無より確認し、必要に応じて医療機関の受診勧奨を行うことを検討しています。

引き続き組合の主体での禁煙支援を行うと共に、所属所と連携して喫煙環境の見直しを行うなど、喫煙率低下に向けた事業を検討しています。その他、肥満率の低下に向けて既存の特定保健指導、体育奨励事業の見直しや参加促進などの取組みを検討しています。

個人情報の取扱いについて

当組合では、個人情報の保護に関する法律 (平成 15 年法律第 57 号) に基づき、組合員の個人情報を適正に取り扱い、保護に努めております。取得した個人情報は、保健給付、加入資格の審査、保険料の徴収、診療報酬明細書 (レセプト) の審査・支払、保健事業等といった利用目的の範囲でのみ利用しています。個人情報の具体的な利用目的については組合ホームページ上で掲載をしています。